学校番号	2003

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新地理Ａ　（帝国書院）						
副教材等	図説地理資料　世界の諸地域ＮＯＷ２０１９　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本を含め、世界諸地域の空間的事象を知る。
空間的事象に「なぜ」という視点を持つ。
世界諸地域の歴史・文化・社会の相違を踏まえて、現代の日本の在り方を考察する。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の地理的な諸課題についての関心と課題意識を高め、それを意識的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	世界の地理的事象から課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の課程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計・画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身につける。	世界の地理的な課題についての基本的な事柄や追及の方法を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	地球儀や地図で捉える現代社会	・球面での世界 ・世界地図の特徴	○ ○	 ○	○	○ ○	a:地球儀と世界地図から地球に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:地球の水陸分布、地図上の世界、時差と季節について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球儀や様々な図法の地図を収集し、地球上の位置や時差について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:地球儀と地図との違い、図法の特徴、地球上の位置や時差についての基本的な事柄を理解し、それらの知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査
		・国家の領域と領土問題	○	○		○	a:日本の位置と領域に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:国家・領域、日本の領土問題について、地基制や歴史的背景を踏まえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:日本の位置と領域に関する地図や統計・画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:日本の位置と領域、日本が抱える領土問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	
一学期	世界の人々の生活を取り巻く地球的環境	・様々な環境の中で暮らす人々 ・世界的視野から見た地形 ・様々な地形と生活	○ ○ ○	 ○ ○	○	○ ○ ○	a:生活の舞台である地形に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:変動帯と大地形、下線・海岸の地形と生活について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:変動帯と大地形、下線・海岸の地形に関する地図や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:変動帯と大地形、下線・海岸の地形と生活についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査
		・世界的視野から見た気候 ・世界の気候と生活	○ ○	○ ○		○ ○	a:人間生活に影響を与える気候に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:大気の大循環、世界の気候と植生・土壌、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯、高山気候について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:大気の大循環、世界の気候と植生・土壌、世界の気候環境と人々の生活に関する地図や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:大気の大循環、気候帯、植生帯、土壌帯、世界の気候環境と生活についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	

		・世界の民族・宗教と生活・文化 ・生活と文化を支える産業の地域性	○ ○	○ ○		○ ○	a:世界の民族・文化・産業に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:世界の民族・文化・産業について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の民族・文化・産業に関する地図・統計や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:世界の民族・文化・産業についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	
二学期	世界の諸地域の生活・文化と環境	・東アジアの暮らしを学ぶ ・東南アジアの暮らしを学ぶ ・南アジアの暮らしを学ぶ ・西アジアの暮らしを学ぶ ・中央アジアの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:アジア諸地域の生活・文化と環境に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:アジア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化について地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アジア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化に関する地図・統計や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:アジア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査
二学期	世界の諸地域の生活・文化と環境	・アフリカの暮らしを学ぶ ・ヨーロッパの暮らしを学ぶ ・ロシアとその周辺諸国の暮らしに学ぶ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:アフリカ・ヨーロッパ・ロシアとその周辺諸地域の生活・文化と環境に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:アフリカ・ヨーロッパ・ロシアとその周辺諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化について地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アフリカ・ヨーロッパ・ロシアとその周辺諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化に関する地図・統計や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:アフリカ・ヨーロッパ・ロシアとその周辺諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査

三学期	世界の諸地域の生活・文化と環境	・北アメリカの暮らしに学ぶ ・中南アメリカの暮らしに学ぶ ・オセアニアの暮らしに学ぶ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:北アメリカ・中南アメリカ・オセアニア地域の生活・文化と環境に対する関心と課題意識を意欲的に高めようとしている。 b:北アメリカ・中南アメリカ・オセアニア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化について地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:北アメリカ・中南アメリカ・オセアニア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化に関する地図・統計や画像などの諸資料について、有用な情報を読み取ったりしている。 d:北アメリカ・中南アメリカ・オセアニア諸国の人々の生活・文化の共通性や多様性、暮らしの変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 プリント提出 定期考査